

# 平成26年度 教育委員会教育次長「政策宣言」達成状況報告

教育委員会教育次長 橋 詰 通

## ○ 平成26年度重要事業

事業名	安全・安心に学ぶための教育環境の充実
目 標	<p>全小・中学校の耐震化を完了させるため、小杉中学校校舎、射北中学校体育館の耐震補強と大規模改造工事等を実施するとともに、新湊中学校の新校舎等の竣工に向け整備に取り組みます。</p> <p>また、小・中学校の体育館の天井、照明器具など非構造部材の耐震化工事を実施するとともに、中学校の普通教室等への冷房設備設置工事を実施し、学習環境の充実を図ります。</p>
年度末 達成状況	<p>小杉中学校校舎及び射北中学校体育館の耐震補強と大規模改造工事、並びに新湊中学校新校舎の工事を完了しました。また、小・中学校の体育館の天井、照明器具など非構造部材の耐震化工事、並びに中学校の普通教室等への冷房設備設置工事を完了し、安全で快適な環境を整備しました。</p>
自己評価	<p>学校施設の耐震化率は100%を達成し、安全・安心に学ぶための教育環境は着実に改善そして充実してきています。</p> <p>今後も引き続き計画的に小中学校の大規模改造工事や時代の変化に対応した教育機器の充実に取り組む必要があります。</p>

事業名	子どもたちの心の安定と基礎学力の定着
目 標	<p>学習支援を要する児童・生徒への見守りなどを行う学習サポーターを継続・増員するほか、全中学校への「チーム・ティーチング指導員」の配置や、教育相談員及び家庭訪問相談員の配置など、一人ひとりに応じた学習指導体制や子どもたちと保護者、教員に対する教育相談体制を充実させます。</p> <p>また、家庭教育力の向上を図るため、「孫育て談義」等を引き続き開催するなど、地域ぐるみで子どもたちを守り育てていく社会の実現を目指します。</p>
年度末 達成状況	<p>学習サポーターを33人雇用し、各小中学校に配置するとともに、チーム・ティーチング指導員を全中学校に1~2名配置しました。教育相談体制については、各学校の状況を見ながら速やかに対応しました。</p> <p>地域ぐるみで子どもたちを守り育てていく「孫育て談義」・「家庭教育支援講座」は、それぞれ計画どおり5地区（太閤山、作道、櫛田、大島、金山）・2回開催しました。</p>
自己評価	<p>教育相談体制の充実については、個に応じた学習指導、サポートネットワーク連絡協議会や学校評議員制度など組織力の活用、子どもたちの健やかな成長につながる取組により着実に成果が上がってきています。</p> <p>「孫育て談義」では家庭教育の重要性への気付きという点で成果があり、また、「家庭教育支援講座」においては富山大学地域連携推進機構との連携講座により高い評価をいただきました。引き続き地域ぐるみで子どもたちを守り育てていく環境づくりに努めます。</p>

事業名	文化・スポーツの振興
目標	<p>本市の長い歴史の中で生まれ、育まれ、今日の世代に守り伝えられてきた多種多様な芸術・文化（財）の振興・活用を図るとともに、「富山マラソン 2015 プレイベント 射水海王丸マラソン 2014」開催を始め、市内で開催される各種全国大会等への支援を通じ、市のPRや観光交流事業にも取り組んでいきます。</p>
年度末達成状況	<p>本市ゆかりの芸術家の企画展を開催したほか、市内の文化財が国・県の登録・指定文化財となるなど、芸術・文化（財）の振興・活用に努めました。</p> <p>「射水海王丸マラソン 2014」では、ハーフマラソンの設定により県内外から 3,000 人近いランナーの参加を得、市民の熱い応援もありプレイベントに相応しい大会となりました。</p> <p>また、各種全国大会等への支援により、競技力の向上はもとより射水の魅力も県内外に発信することができました。</p>
自己評価	<p>地域づくりや観光振興など様々な分野に影響が及ぶ文化面では曳山行事の県無形民俗文化財指定を受け、従前にも増して伝統行事を守り育てていく新たな取組が見られるほか、スポーツ面でも「富山マラソン 2015」開催に向け地域を挙げた支援策が講じられています。</p> <p>また、地域の伝統文化や魅力ある資源の活用策として、竹内源造記念館を拠点にした鰻絵文化の情報を発信する「歴史と文化が薫るまちづくり事業」も関係団体等の積極的な取組により旧北陸道周辺の賑わいづくりの一つとなっています。</p>